

筑南小学校「うちどく」通信 2022.5月号〔毎月7日はうちどくの日〕

提出数/人数(欠席) 1年 16(1)/17☆GOOD☆ 2年 13/13☆GOOD☆
3年 18/18☆GOOD☆ 4年 23/25 5年 15/17 6年 22/23 全校 107(1)/113



1年 I・H『ゆうびんやさんおねがいね』 Eほ サンドラ・ホーニング/文 読んだ人:お兄ちゃん 聞いた人:H

H:ぶたさんがてがみをとどけるところがおもしろかったです。
お兄ちゃん:子ぶたくんの願いをみんなてつないで叶えられてよかったです。1人の願いをつないで叶えられるチームワークに感動しました。

1年 N・S『いちにちおばけ』 Eふ ふくべあきひろ/さく 読んだ人:S 聞いた人:お父さん

S:かっぱがおもしろかったです。いつかみてみたいです。
お父さん:息子がすらすら絵本を読めるようになっていて成長を感じました。これから沢山の本を読んで心も成長してくれるといいなと思いました。

2年 K・H『バムとケロのおかいもの』 Eシ 島田ゆか/作 読んだ人:お母さん 聞いた人:H

H:ちびの犬がかわいくて、ケロちゃんがへんなもようのぬのがいいといったのがおもしろかったです。
お母さん:絵がこまかく描かれていてストーリー以外でも楽しめる本でした。ケロが市場で選んだ生地が「その柄がいい!」と思わずつつこんでしまいました。ケロはどうしてフライパンがほしかったのだろうと思っ
てたけど、最後ページを見て「なるほどね!」と思いました。

2年 M・H『にじいろのさかな』 Eふ マーカス・フィスター/作 読んだ人:お母さん 聞いた人:H

H:にじいろのさかなが1まいずつうろこをあげてひかっているうろこをみんなにあげて一枚になったけど、なかまに入れてもらってよかったなと思いました。
お母さん:いばっていたにじいろのさかなは、ひとりぼっちになってしまったが、悩みをはなし、魚たちにうろこをあげ、なかよしになった。さいごには、にじいろのさかなも、ほかの魚たちもしあわせになれたからよかった。

3年 O・S『きりんですけど』 Eた 高倉浩司/作 読んだ人:S 聞いた人:お母さん

S:キリンのゆめもいろいろあるんだなと思いました。たとえばチーターになりたいと書いてありました。なぜだと言うと足がはやくなりたいたってしていました。
お母さん:キリンがいろいろなゆめをみていろいろな生き物に変身してみるところがとても楽しくて楽しい絵本でした。絵も迫力があってとてもよかったです。

3年 H・H『ざんねんないきもの事典』 48サ 今泉忠明/作 読んだ人:お母さん 聞いた人:H

H:ティラノサウルスは強いのに、前足がこっせつしやすいのがいいでした。ステゴザウルスのかむ力はおばあちゃんよりよわいところもおもしろいと思いました。
お母さん:リスがエサを食べる時に、ほお袋に食べ物をたくさんほおばっているシーンをよく見ますが、食べカスが袋に残っていると病気になるやすいなど初めて知る事が沢山書いてあり興味深かったです。恐竜の研究がしたいとの事で色々な経験から将来の夢を見つけるきっかけになればいいなと思いました。

4年 K・M『おべんとう』 Eこ 小西英子/作 読んだ人:M 聞いた人:お母さん

M:すごくおいしそうなおべんとうでした。4月に遠足に行った時のおべんとうに似ていました。
卵がとろとろに見えました。
お母さん:おべんとうばこに次々とおいしそうなおかずをつめておべんとうが完成しました。おべんとうを作ってお出かけしたくなりました。

4年 T・S『じいちゃんバナナばあちゃんバナナ』 Eの のしさやか/作・絵

読んだ人:S 聞いた人:お母さん

S:じいちゃんバナナがチョコバナナになっていたのでびっくりしました。ばあちゃんバナナはアイスになっていたのできれいだなと思いました。バナナくんもじいちゃんバナナになったらどんなバナナになるか気になります。
お母さん:バナナの成長過程を家族で表してあり、一番熟したおじいちゃんとおばあちゃんが皮を脱いで返信する様子が楽しかったです。また、子どもも大きくなったら何になるのかなと考える場面もありました。私の子どももどんな大人に成長していくか楽しみです。

5年 T・H『りんごかもしれない』 Eよ よしたけしんすけ/さく

読んだ人:H 聞いた人:お母さん

H:わたしはこのりんご一つからこんな発想ができなかったのですごいと思いました。あとこんなものすごい発想ができるなら将来は博士になれるんじゃないかと思いました。
お母さん:どの「かもしれない」にトキメクのかなあと聞きながら聞きました。私は「そだてるとおきないえになるかもしれない」にトキメキました。お水をあげて家を育ててみたいです。

5年 I・N『恐竜が学校にやってきた』 おうちの本 読んだ人:N 聞いた人:お母さん

N:この恐竜が学校にやってきたという世界観がとにかく好きです。もしも私の学校でそんな事があつたらいいなと思いました。
お母さん:恐竜がまだ生き残っていてある日学校にやってくる。大人たちは色々考えてどうしていいかわからずにいるのに子どもたちはワクワク。恐竜が出ていってほっとしたのは大人たち。さみしいと思ったのは子どもたち。この対比もおもしろかったです。子どもから大人になるときにどこからこんなふうに変ったんでしょうね。

6年 U・M『ローザ』 28し ニッキ・ジョヴァンニ/文 読んだ人:M 聞いた人:お母さん

M:白人と黒人の差別の話で、ローザの一言でいろんな人たちが立ち上がり黒人の差別がなくなっていったのですごいと思いました。私もおかしいと思ったことをみんなにちゃんと伝えたいと思いました。
お母さん:バスボイコット事件の話でした。もし、自分がローザだったら同じ時代に生きていたらどう行動したろうと教えさせられる話でした。差別や戦争がない平和な世界になってほしいです。

6年 H・H『ええところ』 Eく くすのきしげのり/作 読んだ人:H 聞いた人:お母さん

H:あいちゃんは自分にはええところがないというけど、そんな人はいないと思います。私も友達のいいところを見つけたら伝えてあげようと思います。
お母さん:自分には「ええところ」が一つもないという主人公のあいちゃんに友達のともちゃんが「ええところ」を必死に探してあげる姿が胸いっぱいになりました。いいところの無い人などいないと思います。それを素直に伝える事ができるのが何より素晴らしいと思いました。とても素敵なお話でした。